

区民と区長の対話集会
「さとことブレスト」(第11回)

令和5年8月29日(火)

杉並区都市整備部 都市計画道路担当

◆第11回 さとことブレスト（視覚障害者）

開催場所：令和5年8月29日（火） 午後4時00分～午後5時40分

場所：西荻地域区民センター（勤労福祉会館）第一、第二集会室

参加対象者：視覚障害者、移動介護従事者

参加者人数：19名

◆ブレインストーミング

1班5人ずつ1班から4班に分かれて、前半と後半の二段階に分けてブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を前半後半1回ずつ回りながらブレストに参加。

○前半は、次の3点の内容を中心にブレスト

- ①まちづくりの関心事はどこにあるか
- ②道路について、どうあると良いか
- ③今後のまちづくりや道路整備の進め方

○休憩・模型見学

都市計画道路補助132号線一部区間の現況と拡幅後の模型を展示。参加者が触れることで道路拡幅のイメージを体感していただいた。

○後半は、次の2点の内容を中心にブレスト

都市計画道路 補助132号線（西荻窪駅北銀座通り）について

- ①今、不便に思っていることや危ないと思っていることなど
- ②道路整備時に、気にしてほしいこと

○ブレスト終了後、班ごとに発表

○講評

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

岸本区長の発言内容（挨拶）

皆様こんにちは。岸本聡子です。今日はよろしく申し上げます。

本日は、「さとことブレスト」にご参加いただきありがとうございます。

私が就任してから約1年と少し経ちますが、この間、様々な区民と対話ということを行って参りました。そのうちの1つ「さとことブレスト」は、ブレインストーミングでみんなが自由に意見を言い合って、刺激し合って、頭の中で嵐を起こそうというような考えのものとなります。

皆さんが今日来てくださったのも、西荻のまちづくりや道路づくりについて関心があって来てくださったと思っております。今日はみなさんのお話をお聞きするのを楽しみにしております。

「さとことブレスト」は、昨年度、西荻地区と高円寺地区で行ってきました。今年度も引き続き、東京女子大学の大学生や、子供たちの声を聴きたくて小学校に行かせてもらったりしています。そして今日は目の不自由な方々とその方々をサポートしている皆様との開催です。

健常者から見えているまちと、皆さまから見えているまちは一味も二味も違っていると思いますので、それを私たちがしっかりと学んでこの取組を進めていきたいという気持ちから、このような会の開催となりました。

今回は西荻窪のまちについて、道路や歩道にどのような不便を感じているのか、将来の道路をデザインしていくにはどのような配慮が必要かなど、ぜひお話を聞かせてほしいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

各班の発表内容

■ 1班

- ・視覚障害者にとって点字ブロックは必要不可欠だが、沢山ありすぎると歩きにくいと感じる。
- ・停留所「西荻北三丁目」の降車口にガードレールやポールがあり、降りる際にぶつかりそうで危ない。
- ・駅前のバスや一部のシャトルバスの停車位置が車道の真ん中にあるため、バスが来たときに分からない。また、1人で車道に出て行くのも怖い。
- ・周知の仕方について、解体・仮舗装工事の場所や期間といった情報を、どこで得られるか知りたい。
- ・道路拡幅するときに自転車レーンを作ってほしい。

■ 2班

- ・整備するなら、駅前からしてほしい。
- ・桃井四丁目交差点から南に下ると、現状右カーブしているが、真っすぐにしてほしい。
- ・三鷹駅前、立体交差等、歩車分離されていて、使いやすい。
- ・自転車専用レーンを整備することによって、みんなが使いやすい道路になればいい。
- ・西荻北三丁目バス停付近が危険。

■ 3班

- ・まちづくりについては、高層マンションがないまちにしてほしいという意見や今のこぢんまりとした雰囲気が好きという意見も出た。とはいえ、全体的な道路の環境などを考えると、そのままにしておくわけにもいかないので、道路を整備する際には道路の使い方を考えた上で整備してほしい。
- ・132号線について不便なところは、歩道が狭いということと、自転車の問題。道が広くなるのであれば、自転車専用レーンがほしい。道路整備をするとなると、無電柱化も行うと思うが、電柱は私たちにとってランドマークになっている。それに代わるものとして、歩道と車道をしっかり区別できるものをつけてほしい。
- ・各地のバス停に点字ブロックがなかったりするのでバス停の位置がわからない。それと、バス停に屋根をつけてほしい。雨が降っていると、バスを降りてすぐのところで傘をさす乗降客がいて、そこにぶつかる可能性がある。
- ・白線が薄くなっているところはこまめに直してほしい。
- ・音響式信号機を増やしてほしい。

■ 4班

- ・西荻北三丁目のバス停の降りてすぐのところに鉄柱があり、よくぶつかるので移設してほしい。
- ・西荻窪駅前の荻窪行きバス停が車道にあるので、点字ブロックを設置してほしい。
- ・西荻窪駅南口のタクシー乗り場に向かうところに3段の階段がある。3段程度なら、スロープにしてほしい。
- ・西荻窪駅北口のスクランブル交差点で、商店街側の1箇所視覚障害者用の押しボタンがないので設置してほしい。
- ・歩道の路面状態を4、5年継続して綺麗な状態に保ってほしい。水道管等の工事によって段差が増えるようなことがないようにしてほしい。
- ・歩道から各商店に入る段差が揃っていると、店の出入りがしやすい。
- ・拡幅後は植栽帯を設置してほしい。植栽帯を頼りに歩ける。

岸本区長の発言内容（ブレストを終えて）

皆さん今日は本当にお疲れ様でした。

ここに来られるのも、この会に参加して下さることも大変だと思います。本当に貴重な機会を頂きました。今までの「さとことブレスト」とはまた違った視点を、皆さんから学ぶことができました。おそらくそれぞれのテーブルに入った職員もそう思っていると思います。

皆さんからお聞きすると、西荻北三丁目のバス停とか、このガードレールとか、この段差とか、この電柱とか、こういうミクロの視点を学べるということと同時に、それとはまた違うマクロの視点、こういった電柱をどうしようか、段差をどうしようか、そういったことも学びました。たぶん皆さんはそういったことを日々感じながらお過ごしだと思いますが、私たちにとっては、本当に貴重なご意見ばかりです。

道路が広くて歩きやすく、歩行者も車いすも自転車も車も、みんなで労わりながらある程度の広さの道路というのが、おそらく多くの人にとって優しいまちづくり、道づくりだという風に今日改めて思いました。

一方で、なかなか道路づくりには時間がかかって、いつになったらできるのか、見通しも立たないというようなところからブレストがスタートしたり、行政からのお知らせは、視覚障害をお持ちの方には、みんな同じように受け取れる訳じゃないとか、そういったことも話し合いがありました。

いずれにしても、この「さとことブレスト」の先に何を見ているかということですが、これから「西荻デザイン会議」という形で発展していきたいと思っています。「西荻デザイン会議」は様々な障害をお持ちの方、そして年代を超えて立場を超えて、西荻のまちの将来を考えて参りたいと思いますので、今日を1つの機会として、継続的にこの先も皆さんのお話を聞かせて頂ければ幸いです。

本当に今日はありがとうございました。

ブレインストーミングで出たご意見

■ 1班

<まちづくりの関心事>

- ・道が広がることによって、バス停は増えるのか。
- ・駅周辺のバス乗り場は混みあっていて、車道で乗り降りしなくてはいけないバスもあるが、本事業によってその構造は変わるのか。
- ・高架下のマイロードも事業によって変わるのか。
- ・西荻窪駅より南側の補助 132 号線は狭くてガードレールもないが、本事業によって改善されるのか。

<道路について>

- ・道を歩くとき、周囲の圧迫感を感じながら歩いている。そのため、道路が広いと逆に抛り所が無く歩きにくい。
- ・ガイドヘルパーと歩くときは、横 2 列で重なりながら歩くので、道は広い方が良い。
- ・点字ブロックはなくてはならないものだが、ありすぎると自分たちも歩きにくいと感じる。
- ・歩道を歩くときは、車道側ではなく建物側を歩くようにしている。

<今後のまちづくりや道路整備の進め方>

- ・周知の仕方について、解体・仮舗装工事の場所や期間等の情報を教えてほしい。前によく歩く道で解体工事が行われていた時、いつまで行われるのか知りたいと思った。杉並区視覚障害者福祉協会や視覚障害者支援総合センターに工事の情報を流してもらいたい。それでも不明点がある時は、個別に電話や窓口で情報を教える等の対応をしてもらいたい。

<今、不便に思っていることや危ないと思っていることなど>

- ・バス停留所「西荻北三丁目」の降車口にガードレールやポールがあり、バスから降りる際にぶつかってしまうときがある。
- ・駅前のバス乗り場で、一部のバスに関して車道の真ん中で乗り降りをしなくてはならないが、歩道から距離があるためバスが来ても分からない。電車の音も大きいため余計に気づけない。また、1人で車道に出て行くのも怖い。
- ・タクシーを利用する際、運転手によって歩道のすぐそばに車を付けてくれるか、少し離れたところに停めるか違う。後者の場合、歩道と車道の間の段差に躓いてしまい危ない。
- ・タクシー乗り場が暗くて分かりづらい。
- ・人の問題だが、列に並んでタクシーを待っているとき、前の人たちが何人で乗って、自分まであと何人居るのか分からない。声をかけてもらえることも少ない。
- ・傾斜がある歩道は怖い。
- ・西荻窪駅より南側はガードレールがなく危ない。

- ・ガードレールやブロックで歩車道が分離されていない道は、車が駐車していると避けるために車道に出る必要があり危ない。また、そのような道で交通量が多いときは、歩けないときもある。
- ・白杖が自転車に巻き込まれて曲がってしまうことがある。謝らない人もいる。白杖は一度曲がると人の力では戻らないため困る。
- ・自転車が一番怖い。ぶつけられて怖い思いをした。逃げられてしまったらどうにも出来ない。
- ・自転車に乗るとき、歩道が狭いため車道を使っているが、車と接触しそうで危ない。

<道路整備時に、気にしてほしいこと>

- ・バスの停留所に、電光掲示板で「次のバスがあと〇分で到着します」と掲示されているが、音声でも知らせてほしい。
- ・歩道に傾斜がないように平らな道路を作ってほしい。
- ・歩車道の段差 2cm は絶対に残してほしい。境界が無いと、どこまでが歩道か分からない。
- ・歩道・車道だけでなく自転車レーンを作ってほしい。
- ・視覚障害の程度によっても、歩きやすい道や危険を感じる場面が違う。そういった視点で考えていてもらいたい。

■ 2班

<まちづくりの関心事>

- ・自転車への対策を早く講じてほしい。
- ・一番ガイドしやすい街は三鷹駅周辺。駅前は、立体になっており、歩車分離がきちんとされている。主要な道路には、必ず点字ブロックが設置されている。ロータリーが緩やかに曲がっていないため、曲がりをはっきりと認識できる。
- ・無電柱化されることで安全性が向上する。

<道路について>

- ・補助 132 号線は、車道が狭く、止まっている車があると、すぐ渋滞するため、広がるという。
- ・道路を拡げることによって、皆（車・自転車・歩行者）が使いやすい道になるのではないか。
- ・カーブしている道では、点字に沿って歩く視覚障害者は、他の歩行者と動きが異なるため、ぶつかることがある。
- ・現状は、段差や電柱が目印になっている。
- ・道路が狭い方が空間認知はしやすい。
- ・縁石がなくなると段差で躓くことがなくなる。
- ・駅前の道が全体的に狭いため、改札前に自転車が通ることになるのではないか。
- ・車止めを設置すれば、自転車の進入を防げるのではないか。
- ・駅前が車・自転車・歩行者みんなにとって、使いにくい道路である。

<今後のまちづくりや道路整備の進め方>

- ・駅前から整備してほしい。
- ・自転車専用レーンを早く整備してほしい。
- ・道路を拓げることによって、少しでも便利になったらいい。
- ・フラットになってしまうため、工事前に視覚障害者にとってどのような道路が使いやすいか意見を聞く機会も引き続き設けてほしい。

<今、不便に思っていることや危ないと思っていることなど>

- ・車で駅前を通ると、狭く、自転車が飛び出してきて、危険を感じる。
- ・駅前にバスのロータリーがないため、ガイドをされていて怖い。
- ・歩道に自転車が侵入してきて危ない。勢いのついた自転車に何度もぶつかられて、杖を折られたこともある。
- ・駅付近の道路のつくりがはっきりしていないように感じるため、どこを通ればよいか曖昧。
- ・西荻北三丁目のバス停の鉄柱が降車時にぶつかりそうになり危ない。
- ・ガードレールに立てかけて駐輪している自転車が邪魔。
- ・点字ブロック上に駐輪している自転車が邪魔。
- ・ガイドの方と一緒に歩いているとき、自転車とすれ違うのが難しい。
- ・盲導犬と一緒に歩いていて、駅前でよく迷う・方向が分からなくなる。
- ・雨が降ると、バス通り（補助 132 号線）の車の渋滞ができる。
- ・車道が狭いため、自転車が歩道を走行して危ない。
- ・通勤・通学時は、歩道をものすごいスピードで走る自転車がいて危ない。
- ・歩車分離がきちんとされていないと、盲導犬も判別がつきづらく、先導しづらい。
- ・青梅街道にしかエスコートゾーンがないため、歩きにくい。
- ・点字ブロックから隅切りまでの距離が遠いため、視覚障害者にとっては、方向感覚が分からなくなる。
- ・駅の改札前に自転車が走っていて危ない。
- ・押しボタン信号がどこにあるかわからない。

<道路整備時に、気にしてほしいこと>

- ・桃井四丁目交差点から南側の道がカーブしているため、真っすぐにしてほしい。
- ・工事中は絶対に誘導員を配置してほしい。
- ・拓幅後に電柱や段差がなくなるのであれば、点字ブロックを明確にしてほしい。
- ・縁石がなくなったりすると、目が見える人は、すぐにわかるが、視覚障害者にはわからないため、明確に分かるような目印を設置してほしい。
- ・道路を拓げると、安全性は向上するが、目印が減るため、視覚障害者でも分かるような配慮をしてほしい。
- ・音のある信号機を設置するなど安全に横断歩道を渡れる対策を講じてほしい。

■ 3班

<まちづくりの関心事>

- ・西荻窪駅周辺の花壇を大切にしたい。
- ・杉並に高層マンションはいらない。
- ・西荻窪は下町っぽい街なので高層マンションはいらない。
- ・こぢんまりとした商店街は残してほしい。
- ・道が広がるのであれば、だれにでも優しい道にしてほしい。
- ・標識等見やすい、通りやすい道にしてほしい。
- ・今のままの西荻窪駅周辺が良い。

<道路について>

- ・電柱をなくすことは景観が良くなるが、視覚障害のある人にとっては電柱がランドマークになっている。
- ・歩道と車道をはっきりと分けてほしい。
- ・白線が薄くなっている部分を直してほしい。
- ・白線が新しいと白線に厚みができ、歩く手助けになる。
- ・背後からくる自転車に杖がぶつかり折れた事例を聞いたことがあるので、自転車は車道を走ってほしい。

<今後のまちづくりや道路整備の進め方>

- ・自転車専用レーンを作してほしい。
- ・路上（お店の前等）に自転車を停めないでほしい。
- ・狭い歩道を歩いているときに電柱にぶつかったことがあるので、電柱に黄色と黒の明示をつけてほしい。

<今、不便に思っていることや危ないと思っていることなど>

- ・地下鉄、バス停の位置がわからない。
- ・横断歩道の音響用押しボタンの位置がわからない。
- ・青に変わったときに音が出る横断歩道にしてほしい。

<道路整備時に、気にしてほしいこと>

- ・歩道に自転車を放置させないでほしい。
- ・歩道を広がって歩かないでほしい。
- ・西荻窪駅前のタクシー乗り場周辺の道がガタガタなので直してほしい。

■ 4 班

<まちづくりの関心事>

- ・ 駅からの道に大型バス多い。
- ・ 路上などに自転車を置きっぱなしにしてあることが多く危ない。
- ・ 歩道と店との間にある段差が店ごとに違うので出入りがしにくい。揃えてくれるとありがたい。
- ・ 自転車の前や後ろに子供を乗せたまま買い物に行く人が稀にいて、心配になる。
- ・ 交通マナーを守ってもらいたい。

<道路について>

- ・ 補助 132 号線について、50 年以上前の計画を今更なぜ進めるのか。
- ・ 路面を滑らかな状態に保つためのシステムを考えて欲しい。水道やガスなどの工事跡で路面に段差があると危ない。今までなかった段差が急にできると、躓いてしまう。

<今後のまちづくりや道路整備の進め方>

- ・ バス停の位置が分かりにくいので、近くに点字ブロックがあると良い。
- ・ アプリで簡単にバス停が見つかるようにしてほしい。
- ・ 交通が多いところや危険なところには、信号機に視覚障害者用の押しボタンがあると良い。

<今、不便に思っていることや危ないと思っていることなど>

- ・ 西荻北三丁目のバス停について、バスから降りるとすぐ正面に鉄柱があり、危ない。何度か頭を打った。
- ・ バス停は会社ごとに分けなくて、1 つにまとめて欲しい。同じ道路に複数あると、どのバスのバス停か分からない。
- ・ 西荻窪駅北口にあるスクランブル交差点で 1 つ視覚障害者用の押しボタンがない信号機があり不便。
- ・ 西荻窪駅南口のタクシー乗り場方面に 3 段の階段があるが、スロープにできないのか。
- ・ 宇田川四丁目のバス停について、バス停のすぐ横にごみ集積所あり危ない。バス停としっかり分けて欲しい。
- ・ 西荻窪駅前のバス乗り場で、車道にあるにも関わらず、点字ブロックのない箇所がある。
- ・ 白杖が脇に止めてある自転車や側溝の隙間に入ってしまう、苦勞することがある。
- ・ 雨の日の点字ブロックが滑りやすく危ない。

<道路整備時に、気にしてほしいこと>

- ・ 植栽帯を頼りにすると歩きやすいため、植栽帯を設置してほしい。
- ・ 歩くときに頼れるものが欲しい。